

<要旨>

[部会に関すること]

自然・生活環境部会→今までの活動を画像で見る。

*西部地域デジタルマップは、QRコードまたは、アドレスにアクセスすれば見れます。

- 分類
- ・歴史文化スポット…町歩きで集めた写真+解説
 - ・文章記録 …塩尻、秋和地区で残っている古文書
 - ・写真記録 …古い写真→敬老会等に活用
 - ・気になるスポット… 興味ある分野（今後充実させていきたい）
 - ・祭イベント
 - ・メンバー紹介

<今後> このマップに他の部会からの画像を分類別に落とし込み（場合によっては新たな分類を加える）→一本化→西部地域まちづくりのホームページで一覧…と考えています。（私見）

防犯・防災部会→防災対策の各種資料を集め部会で研究する。他の部会でも研究する。

4頁参照

その研究結果をまちづくり全体の資料集として集約する。

子育て・教育部会→b、11/15（講演会）・c、入園・入学準備のグッズづくり

5頁参照

b、「子どもの冒険遊び場づくり」…講師（NPO法人ちゃいるどふっど代表半田裕氏）

自分たちで遊具を… 空き地を活用… 遊びができる公園づくり…等

部会員、一般（子育て中の親を）-50名 →事業の実施を承認

c、北、塩尻、認定秋和保育園児を対象に早急に取り組む（ミシンも購入）

<訂正> 清水万貴様…新屋自治会→鎌原自治会

福祉・高齢者部会→

6頁参照

IT担当者部会→第2部会の資料をマップに落とし込んでいく *

7頁参照

[全体に関すること]

2頁参照

b、ホームページの活用…重要

c、会議は開催の方向でいく。

d、防災対策はまちづくりの会全体で考えていく。

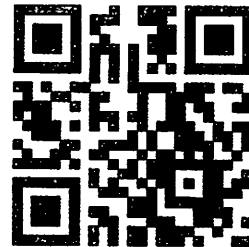
配布資料…8~14頁

自主避難計画（城下まちづくり未来会議作成）

横関さんからの資料

※塩尻地区防災計画より

これらの資料を元に各自で防災対策をについて考えてみましょう。

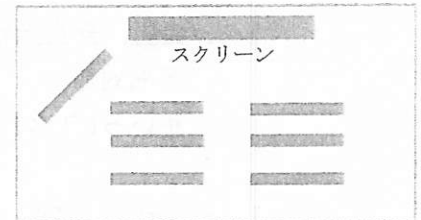


[https:// d-commons.net/seibu/](https://d-commons.net/seibu/)

令和2年度・第3回運営委員会

進行(平石副会長)

1. 開会のことば 平石副会長
2. あいさつ 藤作会長
3. 議 事 議長：藤作会長



3.1 部会に関すること

- (1)部会報告・・・(別紙参照) 部会長より報告
・第1部会は、今までの活動状況を画像にて報告あり(20~30分)

- (2)各部会活動について 藤作会長

①自然・生活環境部会

②防犯・防災部会

- a, 防災対策
 - ・コロナ感染症対策をとっての避難対策
 - ・避難所の設備、避難所の運営
 - ・災害(風水害、土石流、地震)に応じた避難所を利用する自治会(人数)
- b, ハザードマップ、救助マップの為に資料づくりをお願いしたい

③子育て・教育部会

- a, 情報の発信事業
- b, 11月15日講演会について(コロナウイルス感染症対策への取組みは)
具体的内容の検討・・・別紙資料参照(宮尾 さん説明)
- c, 入園・入学準備のグッズづくり(ミシン、小物購入)・・・近隣の保育園児を対象に

④福祉・高齢者部会

- a.寝たきりにならない体操
 - ・9月実施予定の体操は中止した(電話にて中止を連絡)
 - ・10月分は申込受付中(状況に応じて判断したい)
- b.視察研修
 - ・「みんなの塩田食堂」 10月18日(日) 10:00~11:00

⑤IT担当者部会

- a.部会の開催 9月26日 13:30 西部公民館 パソコン持参
 - ・マップの進捗状況の把握
 - ・内容の変更・・・各地区で作っているマップにハザードマップを重ねた地図が出来ないか(危険地域がはっきり把握出来防災対策が可能では)
 - ・IT担当者部会計画づくり(短、中、長期)

3.2 全体に関する事

- a、まちづくり計画の策定
- b、広報活動・・・ホームページの活用、回覧、第3回まちづくり通信の発行
- c、会議、部会活動・・・コロナ感染にどのように対応しながら進めて行くか
- d、各種対策・・・今後の防災対策については、まちづくりの会全体で考える
- e、花いっぱい会の活動・・・秋の取組み10月11日（日）のチラシ印刷と回覧（配布）

3.3 その他（連絡・報告）

4. 閉会のことば

宮下副会長

次回・・・第4回運営委員会 10月15日（木） 19：00～

西部地域まちづくりの会 部会報告書

自然・生活環境部会

部会長： 春原秀夫

日時	2020年8月24日（月）18:30～20:30		
出席人数	15/21名	場所	西部公民館 大ホール

議事内容

- 1、第2回運営委員会の報告
- 2、メンバー紹介用写真を飯高さんに撮ってもらう。今度は自己撮りの硬い表情から一変すると思うので、紹介用写真の差し替えを予定
- 3、自己紹介を兼ねて各部会員が投稿作業を試みる。
本日2名の方がおっかなびっくりで投稿（花いっぱい会、不思議な水路）
- 4、自然・生活環境部会の活動状況の説明について
9月17日（木）19:00からの運営委員会で発表する。（部会長、副部会長、前川教授、竹内充氏で決定。理由：次の部会では、重なる部会があり、不公平になること。）
方法：スクリーンに映し出す方法にて委員の方々に見てもらう。動画にて他の部会員の方々にはホームページでここまでの成果を個人的に確認していただく。
部会員が街歩きをして撮った写真・記事および、投稿記事・写真が掲載されております。
<https://d-commons.net/seibu/>
⇒ 9月17日の準備品として、西部公民館のプロジェクターをお借りしたい。ことと時間的には、20分程割いていただきたい。

次回部会の予定

9月18日（金）18:30～ 大ホール

その他の要望

9月17日の運営委員会
準備品として、西部公民館のプロジェクターをお借りしたい。ことと時間的には、20分程割いていただきたい。

日 時	令和2年8月25日	場 所	大ホール
出席人数	11 / 16		

・内容

1. 第1回&第2回運営委員会の報告

2. 避難所に常備すべき物資について

- ・8/20の運営委員会にて追加あり、別表のようになった

- ・横関さんからの以下の資料をいただいた。

- ① 新型コロナウイルス感染症対策に配慮した、避難所運営のポイント

- ② 新型コロナウイルス感染症を踏まえた災害対応のポイント

- ③ 上田地域防災計画資料から・・・各備蓄場所の備蓄状況表

- ④ 避難所における衛生環境対策として必要と考えられるものの表

- ⑤ 避難所受付時健康状態チェックリスト（例）

- ⑥ 避難所滞在スペースと区分けの振り分けについて（例）

- ・北信ポンプより以下のカタログを入手した。

- ① 防災・災害用資機材総合カタログ

- ② 防災・避難用品カタログ

- ・以上の資料を基に、数量を含め検討・追加していきたい。

3. 長瀬地区防災計画と避難所運営マニュアル

- ・7/20危機管理防災課を訪ね、参考になる防災計画や避難所運営マニュアルがないか尋ねたところ、長瀬地区の防災計画と避難所運営マニュアルをいただいた。

- ・新型コロナウイルス感染以前に作成したもののため、この資料を参考に感染対策を加味したものを作成していきたい。

4. 太陽光パネル設置問題について

- ・8/24都市計画課にその後の確認をしたところ、進展はなしとのこと。

- ・地権者を通じ、事業者に質問状を出しているが、回答はない。

- ・工事は完成間際で止まっている。草木が伸びパネルを覆い始めている。

- ・売電開始された様子無く、事業者の表示も無い。

5. 「株式会社ニチイとして、災害時の協力について」の文書を配布した。

今後、災害時の民間団体との協力について検討していきたい。

5. 部会員の追加と名簿の訂正

- ・別表のように「小林三喜雄氏」を追加した。部会員は15名から16名になった。

・次回部会の予定

令和2年9月25日（金）午後6:30～ 第5学習室&活動拠点室

・その他要望

特になし

部会報告書

[子育て・教育] 部会

部会長 向山節子

日 時	令和2年8月26日 19時～	場 所	多目的ホール
出席人数	9/16		

◎内容

1、自己紹介

2、運営委員会の報告

3、今年度の事業のチーム分け及び打ち合わせ

①情報発信事業(HP)

〈担当〉◎久保田・○柄澤・渋谷・清水・武田・東城・宮島・茅野

②講演会

〈担当〉・宮尾

③入園、入学の手作りグッズ作り事業

〈担当〉◎宮下○瀧澤・竹内・清水・立木・宮尾(兼任)

・次回部会の予定

◎日時 9/18(金)19:00～

◎内容

- ・チーム毎で打ち合わせ及び内容報告
- ・[短期、中期、長期]の課題の用紙のとりまとめ
- ・今後の予定等

・その他要望

部会報告書

【 福祉・高齢者 】 部会

部会長： 横関妙子

日時	令和2年8月21日(金) 18:30~19:45	場所	まちづくり拠点室
出席者	横関、藤作、千野、母袋、宮本、黒澤、町田、田畑、足立、松川、新部会員：佐藤(祥) 地域包括：清水さん、社協：永井さん		

・内 容

1. 部会長挨拶

2. 新部会員紹介 (地域協議会より参加されました)

- ・佐藤祥一さん (秋和) 南部耕作者組合
- ・佐藤悦子さん (緑が丘北) 西部地区民生児童委員協議会 (当日欠席)

3. 第2回運営委員会報告(8月20日) 横関部会長

4. 会議事項

(1) 寝たきりにならない体操

- ①講師：昨年度と同じく鷺巣先生にお願いする
- ②内容：時間は、10:00~11:00(10:30~10:45休憩としその間を利用して社協・地域包括よりの情報・相談の時間としたい) 終了後必要に応じて個別相談に応じる
- ③当日：9:00部会員集合(部員の参加について⇒担当地区グループ時に参加するとして)
 - ・準備：申込名簿、手指消毒液、非接触体温計、予備配付用のマスク
 - ・入口で名簿・体調・体温をチェックしてから入場してもらう(非接触体温計で測定する)
 - ・飲み物は、麦茶600ccペットボトルを配付する
 - ・密を避けるため椅子の間隔を2メートル離して設置する
 - ・音響：マイク2本、椅子をステージ上に用意する
 - ・講師謝礼(副部会長用意)、予備のマスク(部会長用意)
- ④その他(中止の判断、10月以降の募集について)
 - ・上田市内では連日陽性者が出ている。上田市も市内公民館活動等を止めるとの指示は出していない状況化である。が「今後の感染状況を見て判断する」とした。
 - ・9月分の参加申込者が21日現在で28名の状況である。⇒現状で開催するとして10月以降どうするか⇒3グループから2グループにする・・(BグループをCに統合する)

(2) 研修について

- ・「みんなの塩田食堂」視察 10月18日(日) 10:00~11:00
- ・「ふれあいサロンひなたぼっこ」の視察は当面中止とする

5. 次回部会の予定

9月11日(金) 18:30 大ホール

- ①寝たきりにならない体操について
- ②研修について
- ③まちづくり計画の検討 (資料を配付して、各自検討して来るように依頼した)

令和2年9月12日

各自治会 I T担当者各位

西部地域まちづくりの会
I T部会
部会長 小市 武志
TEL:22 - 9613

防犯・防災関連のマップ作り作成の現状確認ほか 開催案内

西部地域まちづくりの会「防犯・防災部会」では、西部地域の「ハザードマップ」及び災害時の「救助マップ」の作成を推進中です。

新型コロナウイルス感染症により、会議の開催を中断しておりましたが、西部地域まちづくりの会も再開しておりますので、各自治会、特に西部地区がどこまで進んでいるかの確認をしたいと存じます。

併せて、城下地区におけるリモート会議の説明を、下記要領で開催いたしますので、ご出席のほどお願い申し上げます。

記

1. 日 時 令和2年9月26日(土) 午後1時30分～(3時30分)
2. 場 所 西部公民館 活動拠点室&第5学習室
3. 説明内容 ハザード&救助マップ作成の現状確認と
城下地区におけるリモート会議の状況説明
4. 講 師 アナハイム株式会社 田玉社長ほか
5. その他

※受講者はノートパソコンをご持参ください。

※西部地区の方は、今まで使っていたソフトがハードディスクに入った
ノートパソコンかUSBメモリーを持参ください。

以上

諏訪形自治会長 窪田 和人 様

諏訪形防犯・防災協議会
会 長 小林 久敏

平成31年度諏訪形防犯・防災協議会活動報告

平成31年度事業は 窪田自治会長と連携を図り予定どおり終了致しましたので、ご報告いたします。

1 目 的

- (1) 自治会員の防犯意識の高揚と安全で安心な地域づくりの推進に努める。
- (2) 自治会の意向を受けて、自然災害等に対応できる組織体制の強化及び効率的な運営の推進に努める。
- (3) 城下地区防犯・防災協議会と連携し、9自治会が協働して地域づくりの推進に努める。

2 諏訪形防犯・防災協議会設立までの経過

諏訪形自治会は、江戸時代に6回、以後今日まで10回の洪水の歴史を有する地域であり、安全で安心して暮らせるまちづくりを目指し毎年水害、火災を想定した防災訓練を実施してきました。

- 平成20年度 自治会自主防災隊組織の見直しに取り組む。
- 平成23年度 自治会自主防災隊夜間防災訓練を県内で初めて実施。
- 平成23年度 城下地区防犯・防災協議会設立。(市内3番目の設立)
- 平成24年度 自治会自主防災隊訓練を城下小で初めて実施。
- 平成25年12月 諏訪形自治会では、城下地区防犯・防災協議会の設立を受けて、市内自治会で初めて諏訪形防犯・防災協議会を設立。
「災害は忘れたころにやってくる 備えあれば憂いなし」を常に念頭に活動を行う。

3 実施事業

(1) 総 会

- ① 令和元年度城下まちづくり未来会議総会
(城下地区防犯・防災協議会)

・期 日 6月15日(土) ・場 所 城下地区防災センター 参加者 53人(8人)

- ② 令和元年度諏訪形防犯・防災協議会総会

・期 日 7月7日(日) ・場 所 諏訪形公民館 参加者 71人

* 防災講演会

○ 演 題 「最近の豪雨災害の特徴について」

○ 講 師 上田市総務部危機管理防災課 課長 田中 達夫氏

講演の中で、田中達夫課長は、「集中豪雨や台風により大きな災害が全国各地で発生しており、『自らの命は自分が守る』。危険だと感じれば自発的かつ速やかに避難行動をとって欲しい」と強調され、さらに「避難した結果何も起きなければ『幸運だった』という心構えが大事」との積極的な対応を求めました。

(2) 防災関係

- ① 諏訪形地区(旧諏訪形村:須川、諏訪形、朝日ヶ丘、中村)災害応援協定締結

・期 日 平成31年4月14日(日) ・場 所 諏訪形公民館 参加者 18人

- ② 城下地区防災計画策定に伴う先進地視察研修

・期 日 令和元年8月23日(金) ・視察地 飯田市危機管理室 参加者 11人(3人)

- ③ 第8回城下地区防災訓練及び防災講演会
 ・期 日 令和元年9月7日(土) ・場 所 城下地区防災センター
 ＊ 防災訓練(土のう作り及び土のう積み) 参加者 55人(8人)
 ・土のう180袋の内、各自治会分として10～15袋、残りは第六分団が防災用に保管。→台風19号で活用でき有効だった。
 ＊ 防災講演会 参加者 45人(8人)
 ・ 演 題 「上田市の防災対策について」
 ・ 講 師 上田市総務部危機管理防災課 防災担当係長 林 秀宣氏
- ④ 小中学校児童・生徒の避難訓練に城下地区防災役員が参加
 第四中学校 4月16日(火) 7人(2人) 抜き打ち訓練 11月1日(金) 6人(1人)
 城下小学校 9月3日(火) 3人(2人)
 南小学校 9月4日(水) 7人(1人)
- ⑤ 金窓寺川周辺草刈り 6月9日(日) 22人 9月22日(日) 22人
- ⑥ 令和元年度諏訪形まちづくり協議会総会及び諏訪形防犯・防災協議会本部会議
 6月29日(土) 22人
- ⑦ 金窓寺川沈砂池スクリーンのごみ除去 年30回実施 延べ69人
- ⑧ 地域づくり人材育成講座(上田市と長野大学が連携開催) 5回 20人(1人)
- ⑨ 令和元年度上田市功労表彰式において、諏訪形自治会が長年の防災活動が高く評価され、市内で初めてまちづくり賞を受賞しました。 [11月22日(金)]
 ()内…諏訪形参加者

(3) 防犯関係

- ① 川辺交番の協力を得て、各種広報・啓発活動の推進を図った。
- ② 諏訪形防犯・防災協議会総会時に特殊詐欺防止への啓発を行った。
- ③ 「ホッとガード城下」と連携し、登下校時の児童への声かけ及び見守りを年間通し実施。
- ④ 上小地区防犯指導員研修会 7月3日(水) 1人
- ⑤ 上田駅周辺パトロール 7月12日(金) 4人
- ⑥ 「城下あいさつ・声かけ運動」へ参加(城下小校門) 11月1日(金) 2人
- ⑦ 少年補導員と一緒に地区内巡回パトロール 11月19日(火) 2人

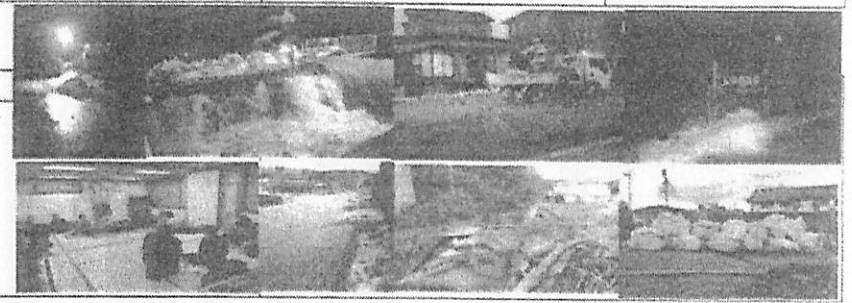
台風19号による災害報告(諏訪形自治会)

2019-10-18

原因	被災種別	被災日	被災時刻	場 所	被災数	緊急対応	備 考	事後対応	その他
	河川氾濫	10月12日	15:50	準用河川金窓寺川沈砂池	1	大型土嚢積み上げ・通行止め		千曲建設にて大型土嚢30袋設置	
豪 雨	床下浸水	10月12日	18:00頃から	市道諏訪形小牧線沿い	2	土嚢による堰止め	土木課へ土嚢50袋を要請して対応	10月17日午前 自治会より市に罹災証明等の 働き取り調査を依頼	市は当日の午後より対応する
	敷地冠水	10月12日	18:00頃から	市道諏訪形小牧線沿い	7	土嚢による堰止め			
	道路冠水	10月12日	18:00頃から		5		金窓寺川沈砂池前の道路・相田宅前農道・公民館南の水路周辺・市道諏訪形小牧線・県道土田塩川線		
	敷地流出	10月12日	18:00頃から	金窓寺川沈砂池東側宅	1		宅地フェンス側土嚢が一部6ヶ村郷に流出		
	田畑への土砂流入	10月12日	18:00頃から	金窓寺川沈砂池向かい側	3		土砂・がれき・流木等の流入		
	マンホールからの吹き上げ	10月12日	18:00頃から	県水排水門	1		多量の水が50センチ程吹き上げる	翌日、飛んだ蓋を元の位置に戻す	県水に報告
	道路法面崩落・欠損	10月12日	18:00頃から	県道土田塩川線・願行寺	3		グループホーム諏訪形近辺と悠生寮付近の県道土田塩川線を通行止め・願行寺霊苑通行止め		
	警戒水位を超えた増水	10月12日	19:00	一級河川千曲川	鉄橋下2mま で	自治会屋外放送 にて避難指示放送	諏訪形グラウンド冠水・中相流失 グラウンドのサッカーゴールポスト流出	諏訪形公民館避難者受け入れ 9名	最終避難者 23時25分帰宅
	倒木	10月12日		公園・グラウンド・道路	5		上田市公園・グループホーム諏訪形付近・悠生寮付近・私有墓地・グラウンド		市に報告
	堤防欠損及び 鉄橋一部崩落	10月13日	6:10～ 5:00	諏訪形堤防左岸及び上田電 鉄鉄橋	300m	7:00 及び7:49 自治会屋外放送 による避難指示放送	国交省によりテトラポットの投入 約50個	国交省により緊急復旧工事を24時間体制で実施・避難指示継続	
暴 風	屋根瓦剥離	10月12日	23時30分頃から	小林・金井・照井宅	3		いずれも10枚から30枚程度		
	カーポート屋根板剥離	10月12日	23時30分頃から	相田宅	1		2枚	10月17日午前 自治会より市に罹災証明等の 働き取り調査を依頼	市は当日の午後より対応する
	農業用小屋損傷	10月12日	23時30分頃から	村松商店・竹本	複数		倒壊・変形など		
	家屋スレート壁剥離	10月12日	23時30分頃から	柳沢宅	1		壁に数枚剥離		
避難	空き巣被害	不明	不明		1	警察に通報	ガラスを割られたが侵入被害なし	10月17日 夕刻 警察から近隣のパトロールを強化するとの通知	

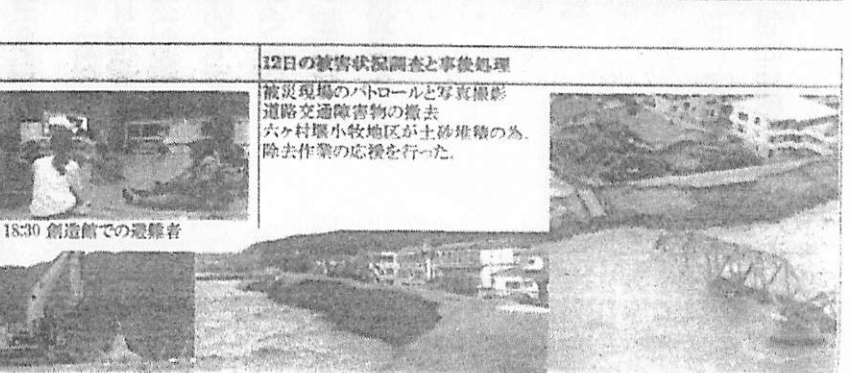
12日の諏訪形自治会災害対策本部の対応

経 過	出勤者	上田市からの通知	見回り箇所	確認・作業	避難場所/避難者数
7:00 台風に伴う事前の放送	小林会長	19:00避難指示発令	金窓寺沈砂池	水位とゴミ撤去	諏訪形公民館/6世帯9人
13:15 開設準備	自治会長	上田市への報告	深町橋沈砂池	水位とゴミ撤去	創造館/ 世帯/ 人
13:30 災害危険箇所の確認	宮下顧問	本部設置時間	小牧自治会との境	氾濫状況	川辺小学校
15:15 災害対策本部設置	副自治会長	沈砂池氾濫	願行寺付近	法面確認	長野大学 1世帯2名
	協議員8名	グラウンド冠水	グループホーム諏訪形付近	崩落状況	小泉公民館 1世帯/3人
16:30 自治会避難所開設	公民館6名	通行止め要請 2ヶ所	殺人坂上の住宅地東の崖	道路状況	親戚
19:14 自治会避難指示放送	役員10名	土嚢調達要請 50袋	千曲川水位及びグラウンド	水位確認	その他
23:00 反省会	計28名	その他災害情報	悠生寮付近	道路状況	諏訪形公民館避難者→
23:25 避難者全員帰宅			農業用水路及び排水路	氾濫状況	
23:30 役員解散					



13日の諏訪形自治会災害対策本部の対応

経 過	出勤者	上田市からの通知	避難指示の強化指導区域	対象世帯数/避難世帯数/派百世帯	避難場所/避難者数	12日の被害状況調査と事後処理
7:00 避難指示放送	小林会長	6:40 避難指示発令	5ブロック1階組～3階組	10世帯 7世帯 2世帯	公民館 1世帯2名	被災現場のパトロールと写真撮影 道路交通障害物の撤去 六ヶ村郷小牧地区が土砂堆積のため、 除去作業の応援を行った。
7:40 避難指示放送	自治会長	7:30 避難指示発令	5ブロック4階組	8世帯 7世帯 1世帯	創造館/5世帯12人	
8:00 鉄橋崩落	宮下顧問	上田市への報告	5ブロック5階組	10世帯 8世帯 1世帯	川辺小学校	
9:30 沈砂池のゴミを撤去	副自治会長		(3組7名にて対応)	計28世帯 22世帯 4世帯	長野大学	
11:00 解散	協議員5名			翌日帰宅する	親戚	
13:30 六ヶ村郷土砂上げ	公民館1名 役員13名 計26名				その他	



18:30 創造館避難所を見物う

台風19号の経過について(諏訪形自治会)

今回の台風は、千曲川上流部の佐久地域で300ミリを超える大雨となり、さらに、菅平ダムの放流等に伴い千曲川水位が上昇し堤防道路の下1メートルに迫る状況となりました。下流の長野市等では、千曲川が決壊し大きな災害が発生しました。

上田市では、市全域に渡り100ミリを超える大雨となり各地で大きな災害が発生しました。

城下地区7自治会では初めての大雨特別警報及び避難指示が発令されましたが、千曲川の水位が大幅に低下していたため、左岸堤防は50センチを残し決壊しなかったことに安堵しました。

諏訪形、三好町、御所自治会の避難指示は10月28日(月)午後5時解除となりました。

◎台風19号への対応について

令和元年10月11日(金)

時間	内容
17:00	諏訪形自治会屋外放送で台風19号について気象情報及び事前の備え等を周知

令和元年10月12日(土)

時間	内容
7:00	自治会屋外放送で台風19号について気象情報及び事前の備え等を周知
8:00 ~8:30	金窓寺川沈砂池の氾濫に備えて土のう50袋積む(窪田、小林久敏、金井、松田、西山)
11:15 ~11:35	沈砂池2箇所(金窓寺川及び深町橋)のごみ除去(小林久敏)
13:15 ~13:30	諏訪形公民館において避難場所開設準備
13:30	台風19号に伴う諏訪形防犯・防災協議会本部員会議を開催 (宮下省二、窪田、小林久敏、細川、金井、松田、宮崎、前沢、新井、西山)
13:50 ~15:30	自治会内の災害危険箇所確認(8箇所)(宮地、金井、宮崎、西山) 沈砂池2箇所のごみ除去作業の班編成 食料等の買い出し(窪田、宮崎)
14:30	窪田自治会長から災害応援協定に伴う3自治会長へ連絡
15:00	金窓寺川沈砂池ごみ除去(小林弘明氏)の応援に出動(松田、西條、宮下省二)
15:09	深町橋沈砂池が氾濫 隣接のレールコーポレーション(株)社員3名がごみ除去を手伝う
15:13	諏訪形公民館に災害対策本部を設置
15:25	農業用水路の氾濫を防ぐためせき板の調整(照井宅前、山宗建材南側) 相田宅前農道冠水したため、市土地改良課へ現地確認と対応を依頼
15:30	大雨特別警報発表 市災害対策本部へ諏訪形自治会の災害対策本部設置を報告
15:50	金窓寺川沈砂池が氾濫(ごみ除去作業中止)
16:00	市災害対策本部へ金窓寺川沈砂池氾濫を報告し、対応を依頼
16:20	諏訪形河川敷グラウンド冠水 市スポーツ推進課長へ連絡(宮下省二)
16:30	民生児童委員(中村道子氏、滝沢裕子氏)本部に合流 公民館に自治会避難場所を開設
17:00 ~23:00	市の指示により千曲建設工業(株)が金窓寺川沈砂池に大型土のう30袋積む 現場確認(宮下省二、松田)
18:00	自治会避難者3名来館(12日の避難者は9名。避難者名簿作成) 8ブロック3隣組及び4隣組の道路冠水と床下浸水が発生
18:15	市から避難勧告発令 市土木課維持係(下塩尻)へ軽トラック2台で土のう50袋受領(西條、宮崎、増沢、新井)
19:00	市から避難指示発令
19:14	大至急避難するよう自治会屋外放送で周知

時間	内容
19:30	・小林征吾氏宅、竹本アパート青木常佳氏宅、柳沢寿美氏宅等へ土のうを配付(役員多数)
20:00	・市災害対策本部へ県道上田塩川線の法面崩落、道路に石が散乱及び道路損壊等で通行不可であることを報告し通行止めを依頼
22:55	・深町橋沈砂池ごみ除去の2名戻る(宮下修身、西條)
23:00	・雨が止み、千曲川の水位が低下したため市に安全確認を行い、反省会を開催
23:25	・避難者全員帰宅
23:30	・役員解散

10月12日の出勤者数…28名

令和元年10月13日(日)

時間	内容
5:30	・県道上田塩川線の状況確認し市へ通行止めの要請を再度行う(宮下省二)
6:24	・市から上田橋と別所線鉄橋の間の左岸で千曲川の堤防が崩れ始めているので大至急避難するよう自治会屋外放送の依頼
6:40	・市から大至急避難してくださいとの指示
7:00	・大至急避難するよう自治会屋外放送で周知
7:30	・市から大至急避難してくださいとの再度の指示
7:40	・大至急避難するよう自治会屋外放送で周知
8:00	・別所線鉄橋左岸側が崩落
8:15	・自治会内の災害現場の記録撮影(細川、増沢、松村)
8:40	・県道上田塩川線の通行止め誘導を行う(西條、新井、松村)・警察の了解を得る(宮下省二)
8:50	・千曲川決壊の恐れがあるため、近隣住民へ至急避難するよう呼びかける(28世帯) (松田、柳澤公一、金井、西山、宮崎、斉藤、増澤)
9:30	・土屋市長が千曲川の鰐訪形堤防及び金窓寺川沈砂池の現地確認
~10:20	・金窓寺川沈砂池及び深町橋沈砂池のごみ除去(宮下修身、西山、金井)
9:42	・避難者2名来館
10:40	・千曲川堤防の崩落が治まり、決壊の心配がなくなったため、反省会を開催
~11:00	・解散
11:15	・金窓寺川沈砂池及び深町橋沈砂池のごみ除去(宮下修身、小林久敏)
~11:45	
13:30	・六ヶ村堰の水が流れるよう堆積した土砂を移動(鰐訪形20名参加)
~15:00	
18:30	・避難場所の創造館へ避難者を見舞う(窪田、小林久敏)
~19:15	

10月13日(日)の出勤者数…27名

令和元年10月28日(日)

時間	内容
17:00	・鰐訪形・三好町・御所自治会の避難指示解除

地区防災計画の策定後で初 長瀬で自主防災組織防災訓練 災害情報の入手方法など座学も

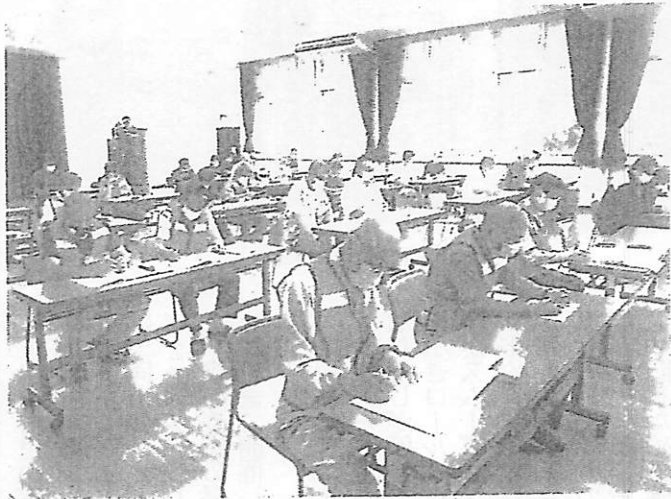
上田市の丸子まらづくり会議長瀬地区会議(丸山登志一会長)は13日、長瀬地区防災計画の策定後初とな

る「長瀬地区自主防災組織防災訓練」を、長瀬市民センターで行った。

長瀬地区防災計画は、身近な地域コミュニティごとに効果的な防災活動の推進のため、

国が策定を呼びかける「地区防災計画」で、長瀬地区(上長瀬、長瀬中央、下長瀬の3

自治会)が、昨年2月に作成。避難所運営マニュアルも策定した。計画では、平時の備え



防災研修会



耐震性防火水槽から取水した放水訓練

として、計画に沿って適切に行動できるように毎年訓練を行うことになっている。新型コロナウイルス感染症防止から、参加者や時間・内容を限定して行うことになった。

丸山会長は「昨年の台風19号では、長瀬地区も堤防の損壊や避難などを体験した。災害への対応は住民が自ら考え、行動することが大切」。久保田由夫防災部会長は「コロナの状況で開催を心配したが、内容を変更して行う。昨年8月に完成した耐震性防火水槽の披露も兼ねて、消防団の放水訓練も行う」と、それぞれあいさつ。

訓練は防災研修の座学と放水訓練の2つにしほり、研修は上田市危機管理防災課の職員が「防災情報の入手方法について」で、ハザードマップの見方や、災害情報の入手方法について解説。ハザードマップは今後、100

0年に1度の大雨を想定したものが全戸配布になる予定。上田市や国土交通省の配信でネット上からもハザードマップが得られることも紹介した。さらに、地区防災計画の修正点も指摘した。

災害情報の入手方法として「上田市メール」による配信情報、SNS・ツイッターによる情報確認、FMとうみの「はれラジ」や長野県河川砂防情報センター、気象庁などの情報発信、ライブカメラで上田建設事務所と長野国道事務所などを紹介。新型コロナウイルスを踏まえた分散避難なども解説した。

座学終了後、机などの後片付けは、新型コロナウイルス対応を兼ねて、各自が机やいすなどの消毒を行った。放水訓練は上田市消防団丸子第5分団が、耐震性防火水槽からポンプ車を使い、火点に向かって放水した。



イオン上田店の展示会場

今年にはコロナ禍で一般家庭や会社など外気が

今年にはコロナ禍で一般家庭や会社など外気が

上田市古里の窓周り専門商社の榎あけぼの通商(近江朋秀社長)は、同市のイオン上田店2階イベント広場で、網戸や窓の展示会を22日まで開催している。

会場にはアコーディオン網戸や取り付け、取り外しが簡単な大型横引きロール網戸、開閉がスムーズなブラインドタイプの網戸のほかあんみつガラス窓、ルーバー式雨戸などを展示している。台風対策や防犯のための強度な窓ガラスの提案も行っている。

TEL 0120・296・033



左から沓掛さん、塩川さん、宮之上会長、合田さん

上田市大手の上田市立第二中学校(酒井秀樹)はこのほど、市社会福祉協議会(宮之上孝司)会回収の収益金からマスク500枚を寄付した。

沓掛さんは「コロナで困っている人がいる中、日々お世話になっている地域に恩返しできないかと考え、協議会のポスターを見て寄付を決めた。市の皆さんで使ってもらえたらうれしい」とあいさつ。宮之上会長は「二中の皆さんの心温まる寄付に感謝申し上げます。コロナ禍の中、今年はマスクを寄付していただいた。有効に使わせていただきたい」と、

み回収。収益金は「9000円」にとどま

秋和で防災訓練
マニユアル検証も
防災充実プロジェクトチーム

上田市秋和自治会(宮島範雄会長)の防災充実プロジェクトチーム(飯沼健二リーダー)は13日、秋和児童センターで防災マニユアルの検証、防災知識の習得など行っ



段ボールベッドの組み立ての実習



あいさつする宮島自治会長

宮島自治会長は「昨年の19号台風では避難所を開設。避難した方もあった。今後、防災備品など充実させ、安心安全なまちづくりを目指したい」と話していた。

飯沼リーダーは「コロナ禍で少人数の参加者となってしまったが、今後、区内へ素早く情報伝達するための緊急連絡網の確立をしたい」。

同防災隊は組織内に消防経験者による災害対応チームを新設するなど組織の強化などを1年間研究してきた。その確認ともなった。

000円を寄付していた。

コロナ禍のため秋和自主防災隊、本部、災害対応各班の班長など26人参加のみでの訓練

となった。

上田市危機管理防災課の大林裕治係長が「上田市の防災・減

災への取り組み」について講演したほか、同自治会内のコムパックシステム(榎鈴木由彦社長)から段ボールベッドの作成について指導を受け、避難スペースの間仕切りの実習を行った。

また、非常食の試食や秋和独自の自主防災隊マニユアルに基づき、災害時の行動確認などが行われた。

Kan

会社の二次会
各種イベント
承つて
Dining to Lou
ご予約受付

洪水
土砂災害を

我がこと

と考える

上田市城下地区

諏訪形自治会版

自主避難計画



- 1 いざというときの自主避難ルール
- 2 諏訪形自治会災害ハザードマップ
- 3 千曲川洪水ハザードマップ
- 4 住民一人ひとりが日頃から備えておくこと

この自主避難計画は、『上田市城下地区防災マップ作成住民懇談会』において、自治会の皆さんによって検討、作成されました。洪水・土砂災害への備えとして、皆さんに知っていただくものです。ぜひ活用してください。

この計画は、上田市災害ハザードマップ、千曲川洪水ハザードマップ、ため池ハザードマップ須川池と一緒に保管ください。

1 いざというときの自主避難ルール

城下地区は、千曲川へそそぐ沢や土砂災害特別警戒区域等に指定されているため、身近な場所にはがけ崩れや土石流、沢や河川のはん濫などの危険性が存在します。

このような洪水・土砂災害などの危険から身を守るためには、住民一人ひとりがいざという時に取るべき対応をしっかりと理解しておくことが必要です。

原則

諏訪形公民館
(第一次避難場所)

城下小学校
(指定避難所)

※3・4ページ参照

または

親戚、友人宅など
安全な場所へ早めに
避難しましょう。



自宅内避難



屋外避難

※指定避難所の開設は、市または自治会長が判断します。避難する前に、自治会長または
上田市役所 総務部 危機管理防災課 TEL:0268-21-0123(直通)

0268-22-4100(代表)にお問い合わせください。

緊急避難の場合

- ※自宅や近隣のお宅の上層階に避難することも含め、周辺の状況に応じて、各自で自宅周辺の比較的安全な場所へ避難しましょう。
- ※道路が冠水している中での屋外避難は危険を伴うため、浸水範囲を避け、移動距離の短縮を考えましょう。
- ※一人で避難することの困難な方がいる場合は、一緒に避難の支援をしましょう。

1 情報の把握

雨が降り出したら、各自ワンカップ等で雨量計測を開始しましょう。

日頃から、雨量を計測する習慣をつけましょう。普段の雨、強い雨、激しい雨など、どのくらいのペースでどのくらい溜まるのか観察すると、雨の強さによって、どのくらい降っているのか自分自身の感覚で分かるようになります。

(2ページ参照)

また、市のホームページの気象情報では、リアルタイムの雨量観測データを見ることができます。気象庁のホームページでは、雨雲レーダーによる雨量予測も見られますので、ぜひ活用してください。(7ページ参照)

2 自主避難基準及び避難の開始

- (1) 自主避難基準に達した場合、ただちに避難しましょう。
- (2) 自主避難基準に関係なく避難した方が良くと判断した場合、臨機応変に避難しましょう。

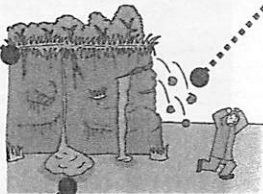
自主避難基準

※次の予兆現象を確認した場合、自治会長へ報告しましょう。
※自治会長は自主防災組織（隊）を招集し、自治会員へ周知します。

(1) 土砂災害の前ぶれ(予兆現象)があった場合

がけ崩れ の発生前には・・・

がけに割れ目が見える
がけから小石が
ぱらぱら落ちてくる



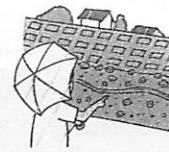
がけから
水が湧き出ている

土石流 の発生前には・・・

山鳴りがしている



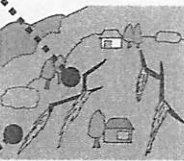
急に川の流が濁り、
流木が混ざっている



雨が降り続けているのに
川の水が下がっている

地すべり の発生前には・・・

地面にひび割れが
できている
沢や井戸の
水が濁る



斜面から水が
噴き出している



この他にも・・・

- ・地鳴り、木根のちぎれる音、岩の割れる音などがしている
- ・ものの腐ったような臭い（腐葉土、下肥の臭い）がしている
- ・小動物（カラス・モグラ・ミミズ・ネズミなど）が異常行動（騒ぐなど）をする

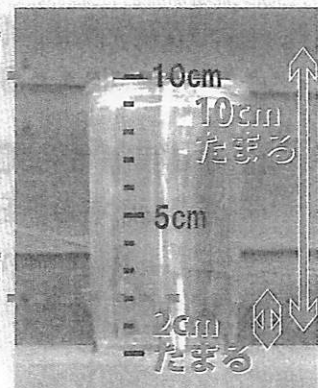
- (2) 恐怖を感じるような強い雨の時や、雨量が20mm/時間以上または100mm/累計以上の場合

連続雨量で
100mm
以上の雨

- (3) 千曲川生田水位観測所の水位が平成25年9月16日の台風第18号時の水位3.98m以上に達した場合

1時間に
20mm
以上の雨

- (4) 古舟橋上流の霞堤付近でうずまきの発生を確認した場合






ワンカップを利用した雨量計測

- (5) 震度5強を超えた場合

※ただし、上田市の避難情報を優先します。

2 諏訪形自治会 災害ハザードマップ

法律によって指定された地域の危険箇所

-  土砂災害特別警戒区域 (急傾斜地の崩壊) (土石流)
-  土砂災害警戒区域 (急傾斜地の崩壊)
-  土砂災害警戒区域 (土石流)


地区南側の山林(小牧山・東山・前山)の沢等は、地震や豪雨等により、がけ崩れや土石流の危険区域に指定されています。

降雨時における危険箇所

過去に災害が発生した危険箇所

避難場所

- 諏訪形公民館 (第一次避難場所)
- 荒神宮
- 城下小学校 (指定避難所)
- 第四中学校

 諏訪形自治会範囲 (集落)

2日間での千曲川流域実績最大雨量：
177mm (昭和58年9月洪水発生)

過去の実績から100年に一度の降雨量は、千曲川流域の2日間の総雨量186mmを予想した場合、小牧・御所・千曲町で浸水が想定されます。

1:7,500

0 200 400

750 m



平成29年台風による
風倒木被害

諏訪形公民館
(第一次避難場所)

昭和30年代
土砂崩れ

荒神宮

昭和36年7月
土手崩壊

大雨時あふれ、
駐車場水浸し

昭和27年7月 大雨時
堤防の高さまで増水
金窓寺川があふれ、土石流発生
六ヶ村堰が止まりあふれた

雨の度、水路があふれ
民家の庭先まで浸水

平成27年台風時
一部床下浸水

平成28年
土砂崩れ

昭和28年、昭和33年、
昭和34年
六ヶ村堰氾濫

大雨時
金窓寺川沈砂池
氾濫

平成29年台風による
風倒木被害

排水路が落葉でつまり
あふれる可能性有り

落石

流木等により
鉄砲水の恐れ有り

土砂崩れ

出水

出水

7月
6月
0月
氾濫

好町

77

186

186

小牧

諏訪形

諏訪形

東上田水道
管理事務所

諏訪形公園

千曲川

信濃新橋

上田悠生寮

三好町会館

諏訪形駅

下保育園

新

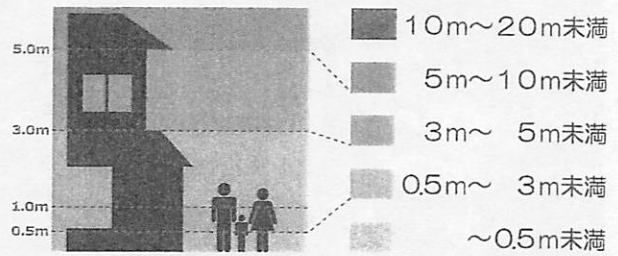
六ヶ村堰

7月
6月
0月
氾濫

3 千曲川洪水 ハザードマップ

浸水想定区域の深さと目安

(千曲川流域の2日間の総雨量 396mm)



県管理河川の浸水想定区域
(浸水の深さは上田市災害ハザードマップ参照)

千曲川流域で起こりうる最大規模の降雨量を「想定最大規模(1000年に一度)の降雨」としており、千曲川流域の2日間の総雨量396mmを想定しています。以下の情報が発表または発令された場合は、赤色の浸水区域の外へ避難してください。

- ・大雨特別警報
- ・避難勧告または避難指示(緊急)
- ・氾濫危険水位情報(生田水位観測所)

※ 自治会範囲



家屋倒壊等氾濫想定区域

- 家屋倒壊危険区域(河岸侵食)
- 家屋倒壊危険区域(氾濫流)

千曲川堤防沿いの地域等は、洪水時に洪水氾濫や河岸侵食により家屋を倒壊するような激しい氾濫流等の発生が想定されるところです。この区域では、洪水時には避難勧告等に従って安全な場所に避難する必要があります。

危険が迫っている場合、浸水想定区域外の安全な場所に避難してください。ただし、今後、浸水想定区域が見直しされる場合もあります。

土砂災害警戒区域等

- 特別警戒区域(土石流)
- 警戒区域(土石流)
- 特別警戒区域(急傾斜)
- 警戒区域(急傾斜)

1:20,000



4 住民一人ひとりが日頃から備えておくこと

1 ご家族で1ページを参考に避難場所などの確認を事前におきましょう

安全に避難できる場合

いつ?

- (1) 事前に台風や大雨が予想される場合
- (2) 夜中に雨が降り続くと予想される場合
- (3) いつもの雨天時と違うと感じた場合

どこへ?

第一次避難場所及び指定避難所または
親戚、友人宅など安全な場所



記入欄

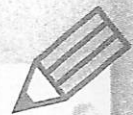
いつ

場所

連絡先

その他

家族で話し合ったことを
記入しましょう



緊急避難の場合

いつ?

- (1) 浸水の中を避難しなければならない場合
- (2) 洪水や土砂が迫ってきた場合

どこへ?

- (1) がけや沢、河川・用水路から離れた
最寄りの高い建物や高台
- (2) 自宅の2階以上で、斜面から離れた部屋



記入欄

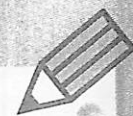
いつ

場所

連絡先

その他

家族で話し合ったことを
記入しましょう



自治会災害ハザードマップ (3・4ページ)

2 千曲川洪水ハザードマップ (5ページ) の確認をおきましょう

3 雨量・千曲川の水位に注意しましょう

自主避難の判断基準の一つとなりますので、
2ページを参考に注意しましょう。

国土交通省
千曲川河川事務所
千曲川生田水位観測所



4 震度5強を超えた場合、須川池の決壊も想定しましょう

5 情報の入手方法を確認しておきましょう

洪水・土砂災害情報は、携帯電話会社が提供する**緊急速報メール**または**テレビやラジオ、インターネット**などから入手できます。
我がこととして積極的に情報を入手する習慣をつけましょう。

() は情報発信元

土砂災害 警戒情報	① 大雨で土砂災害発生の危険性が高まったとき (気象庁と県) ② 避難勧告等を発令する際の判断や住民の自主避難を促すため
特別警報	① 大雨などにより、重大な災害が発生する可能性が非常に高まったとき (気象庁) ② ただちに命を守る行動を促すため
避難準備・ 高齢者等 避難開始	① 災害で被害を受ける可能性が高くなったとき (上田市) ② 次に示すような避難行動を促すため 要援護者の方は、この段階で避難を始めてください。 〔お年寄りの方、体の不自由な方、小さな子供がいらっしゃる方など、 避難に時間がかかる方と、その避難を支援する方〕
避難勧告	① 人的被害が発生する可能性が高まったとき (上田市) ② 速やかな避難の開始を促すため ※外が危険な場合は、屋内の高いところに避難してください。
避難指示 (緊急)	① 人的被害が発生する可能性が非常に高いと判断されたとき (上田市) ② 緊急に避難を促すため ※外が危険な場合は、屋内の高いところに緊急に避難してください。

※これらの情報が発表される前に災害が発生することも十分に考えられます。

◎気象情報に関わる各種ホームページをご覧ください。

上田市ホームページ気象情報
<http://city-ueda.jyouho.net/index.php>



長野県河川砂防情報ステーション
<http://www.sabo-nagano.jp/dps/>



気象庁高解像度降水ナウキャスト
<https://www.jma.go.jp/jp/highresorad/>



気象庁ホーム
<http://www.jma.go.jp/jma/index.html>



避難所における衛生環境対策
として必要と考えられるもの

物資
マスク
アルコール手指消毒液
体温計
非接触型体温計
除菌用アルコールティッシュ
タオル（ただし1回使用ごとに廃棄）
ペーパータオル
新聞紙（吐物処理用）
ハンドソープ
清掃用の家庭用洗剤
次亜塩素酸ナトリウム
フェイスシールド
カッパ
使い捨て手袋（ビニール手袋も可）
ラップ
ポリ袋
レジ袋
ジップロック袋
ゴミ袋
バケツ
スプレー容器
蓋つきゴミ箱（足踏み式）
簡易トイレ（凝固剤式）
段ボールベッド（簡易ベッド）
パーティション

受付時 健康状態チェックリスト(例)

④太枠の中の項目についてご記入ください。

受付日:令和 年 月 日

避難所名	氏名	年齢

チェック項目		
1	あなたは新型コロナウイルスの感染が確認されている人の濃厚接触者で、現在、健康観察中ですか？	はい・いいえ
2	普段より熱っぽく感じますか？	はい・いいえ
3	呼吸の息苦しさ、胸の痛みはありますか？	はい・いいえ
4	においや味を感じないですか？	はい・いいえ
5	せきやたん、のどの痛みはありますか？	はい・いいえ
6	全身がだるいなどの症状はありますか？	はい・いいえ
7	吐き気がありますか？	はい・いいえ
8	下痢がありますか？	はい・いいえ
9	からだにぶつぶつ(発疹)が出ていますか？	はい・いいえ
10	目が赤く、目やにが多くないですか？	はい・いいえ
11	現在、医療機関に通院をしていますか？ (症状:)	はい・いいえ
12	現在、服薬をしていますか？ (薬名:)	はい・いいえ
13	そのほか気になる症状はありますか？	はい・いいえ
	※「はい」の場合、具体的にご記入ください	
14	避難所での行動に際し、介護や介助が必要ですか？	はい・いいえ
15	避難所での行動に際し、配慮を要する障がいがありますか？	はい・いいえ
	※「はい」の場合、障がいの内容をご記入ください	
16	乳幼児と一緒にですか？(妊娠中も含む)	はい・いいえ
17	呼吸器疾患、高血圧、糖尿病、その他の基礎疾患はありますか？	はい・いいえ
	※「はい」の場合、具体的にご記入ください	
18	てんかんはありますか？	はい・いいえ

(以下は、受付担当者が記入します)

体温	℃	受付者名	
滞在スペース・区画			

※滞在スペース・区画欄には、避難する建物や部屋の名称および区画番号などを記入する

避難所滞在スペースのレイアウト (例)

● 体育館のような広い空間において、健康な人が滞在するスペースとしては、以下のような方法が考えられる。

感染対策やプライバシー保護の観点からは、パーティションやテントを用いることが望ましい。

● 感染リスクの高い高齢者・基礎疾患を有する人・障がい者・妊産婦等が滞在する場合には、避難所内に専用スペースを設けることが望ましいが、体育館内に専用ゾーンを設け、以下と同様の考え方で利用することも考えられる。

テープ等による区画表示

(例) 3m 1m~2m以上

○ 一家族が一区画を使用し、人数に応じて区画の広さは調整する
○ 家族間の距離を1m以上あける

※ スペース内通路は出来る限り通行者がすれ違わないように配慮する必要がある

テントを利用した場合

(例)

○ テントを利用する場合は、飛沫感染を防ぐために屋根がある方が望ましいが、熱中症対策が必要な際には、取り外す。

パーティションを利用した場合

○ 飛沫感染を防ぐため、少なくとも風位で口元より高いパーティションとし、プライバシーを確保する高さにするのが望ましい。また、換気を考慮しつつ、より高いものが望ましい。

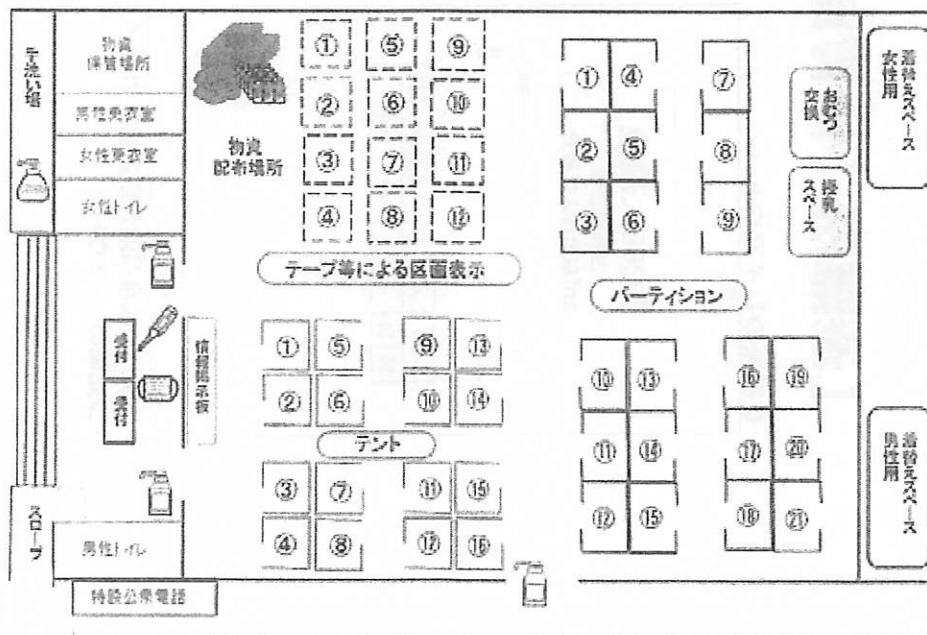
(例)

※ 人と人の間隔は、できるだけ2m(最低1m)空けることを意識して過ごしていただくことが望ましい。

※ 避難所では、基本的にマスクを着用することが望ましい。特に、人と人の距離が1mとなる区域に入る人はマスクを着用する。

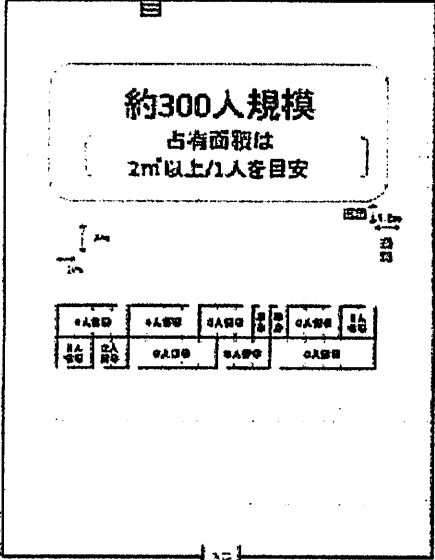
※ 上記は全て実施することが望ましいが、災害時において、種々の制約が想定され、出来る範囲で最大限実施することが望まれる。

● テープ等による区画表示やパーティション、テントを利用する場合は、番号等を付し、誰がどの番号等の区画等に滞在しているか分かるように管理する。



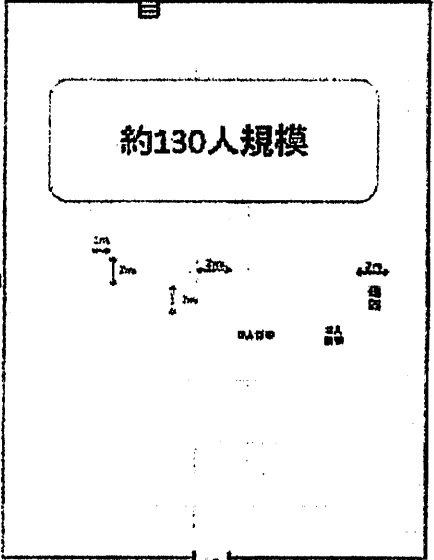
【避難所（体育館）スペースの比較】

◆従来のレイアウト



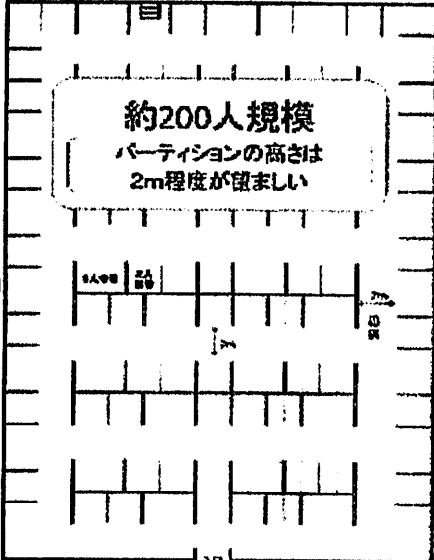
現行の岐阜県避難所運営ガイドライン記載のレイアウト

◆2m間隔を確保



約170人分不足
(従来の約2.3倍スペースが必要)
⇒教室活用や、他の避難先の確保が必要

◆パーティションを活用



約100人分不足
(従来の約1.5倍スペースが必要)
⇒教室活用や、他の避難先の確保が必要

新型コロナウイルス感染症対応時の避難所レイアウト(例) 〈避難受付時〉

R2. 6. 10
第2版

専用階段、専用トイレの確保をする。(専用階段について、確保が難しい場合は、時間的分離・消毒等の工夫をした上で兼用することもあり得る。健康な人の乗用は不可。)

専用スペースと専用トイレ、独立した動線を確保できない場合は、濃厚接触者専用避難所を別途開設することも考えられます。

軽症者等(一時的)

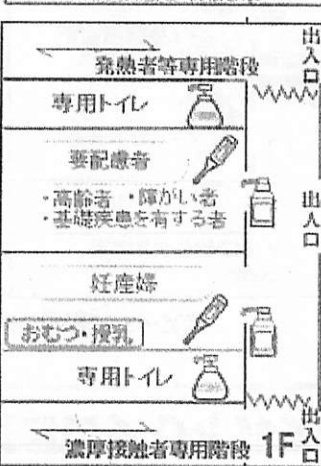
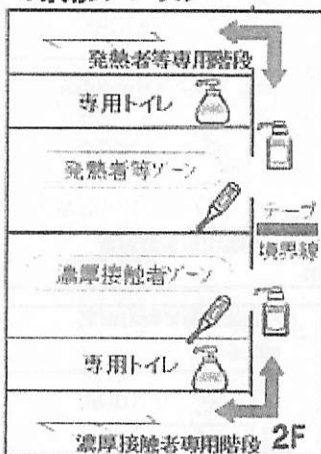
・軽症者等は、予め災害時の対応・避難方法等を決め、本人に伝えておくことが重要です。

・軽症者等及び新型コロナウイルス感染症を罹患したと思われる人の対応については、防災担当部局と保健福祉部局等が十分に連携の上で、適切な対応を事前に検討する。

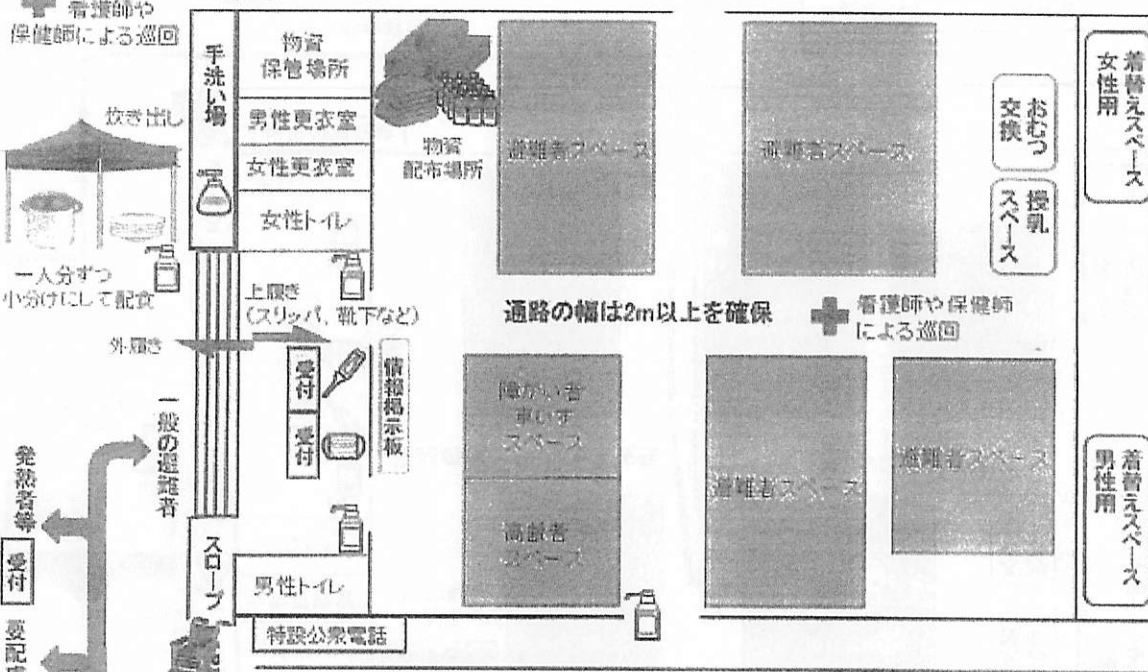
・軽症者等が一時的に避難所に滞在する場合、一般地内の別の建物とする。
・同一建物の場合は動線を分け、専用階段とスペース、専用のトイレ、専用風呂等が必要

※軽症者等であっても原則として一般の避難所に滞在することは適当でないことに留意する。

〈専用スペース〉



〈集合スペース〉



受付等のデントについては、建物の窓の付近に設置しないよう留意する。

受付時でのチェック

- 避難者カードの記入
- 発熱、咳等、体調の確認
- 要配慮等の確認 など

用意するもの

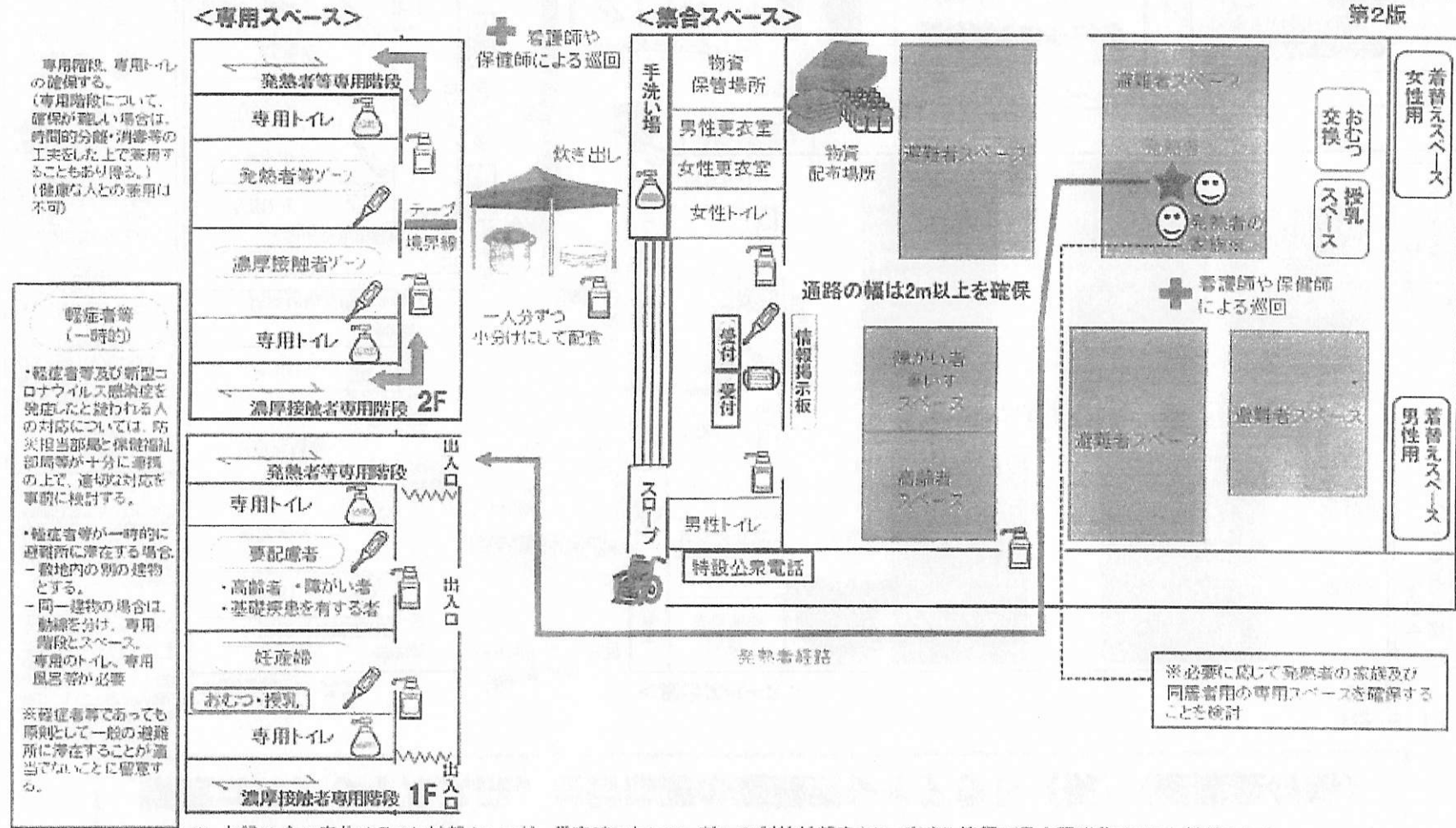
- ・体温計(非接触型)
- ・アルコール消毒液(手指用)
- ・次亜塩素酸溶液
- ・ハンドソープ、ウェットティッシュ
- ・フェイスシールド
- ・ビニールシート
- ・使い捨て手袋 など

総合受付にて、滞在スペース・区画の振り分け(ナンバリング)を行う。
(マスク・体温計・上履き・ごみ袋持参)

※ 上記は全て実施することが望ましいが、災害時において、種々の制約が想定され、出来る範囲で最大限実施することが望まれる。

新型コロナウイルス感染症対応時の避難所レイアウト (例) <避難受付以降>

R2. 6. 10
第2版



※ 上記は全て実施することが望ましいが、災害時において、種々の制約が想定され、出来る範囲で最大限実施することが望まれる。

【避難所レイアウト (例) <避難受付以降>】

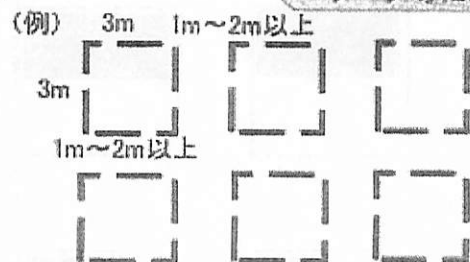
健康な人の避難所滞在スペースのレイアウト（例）

R2. 6. 10
第2版

【健康な人の避難所滞在スペースのレイアウト（例）】

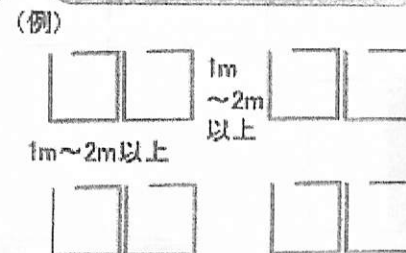
- 体育館のような広い空間において、健康な人が滞在するスペースとしては、以下のような方法が考えられる。感染対策やプライバシー保護の観点からは、パーティションやテントを用いることが望ましい。
- 感染リスクの高い高齢者・基礎疾患を有する人・障がい者・妊産婦等が滞在する場合には、避難所内に専用スペースを設けることが望ましいが、体育館内に専用ゾーンを設け、以下と同様の考え方で利用することも考えられる。

テーブル等による区画表示



- 一家族が一区画を使用し、人数に応じて区画の広さは調整する
 - 家族間の距離を1m以上あける
- ※スペース内通路は出来る限り通行者がすれ違わないように配慮する必要がある

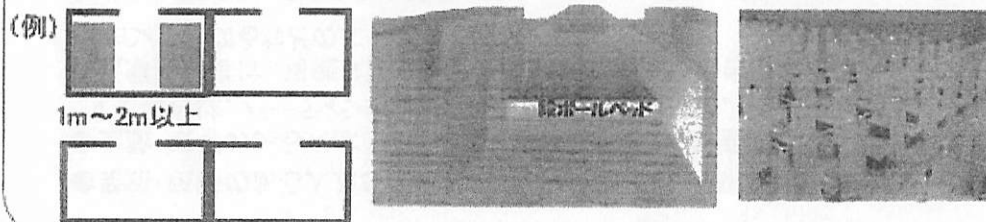
テントを利用した場合



- テントを利用する場合は、飛沫感染を防ぐために屋根がある方が望ましいが、熱中症対策が必要な際には、取り外す。

パーティションを利用した場合

- 飛沫感染を防ぐため、少なくとも座位で口元より高いパーティションとし、プライバシーを確保する高さにすることが望ましい。また、換気を考慮しつつ、より高いものが望ましい。



- ※ 人と人の間隔は、できるだけ2m(最低1m) 空けることを意識して過ごしていただくことが望ましい。
- ※ 避難所では、基本的にマスクを着用することが望ましい。特に、人と人との距離が1mとなる区域に入る人はマスクを着用する。
- ※ 上記は全て実施することが望ましいが、災害時において、種々の制約が想定され、出来る範囲で最大限実施することが望まれる。

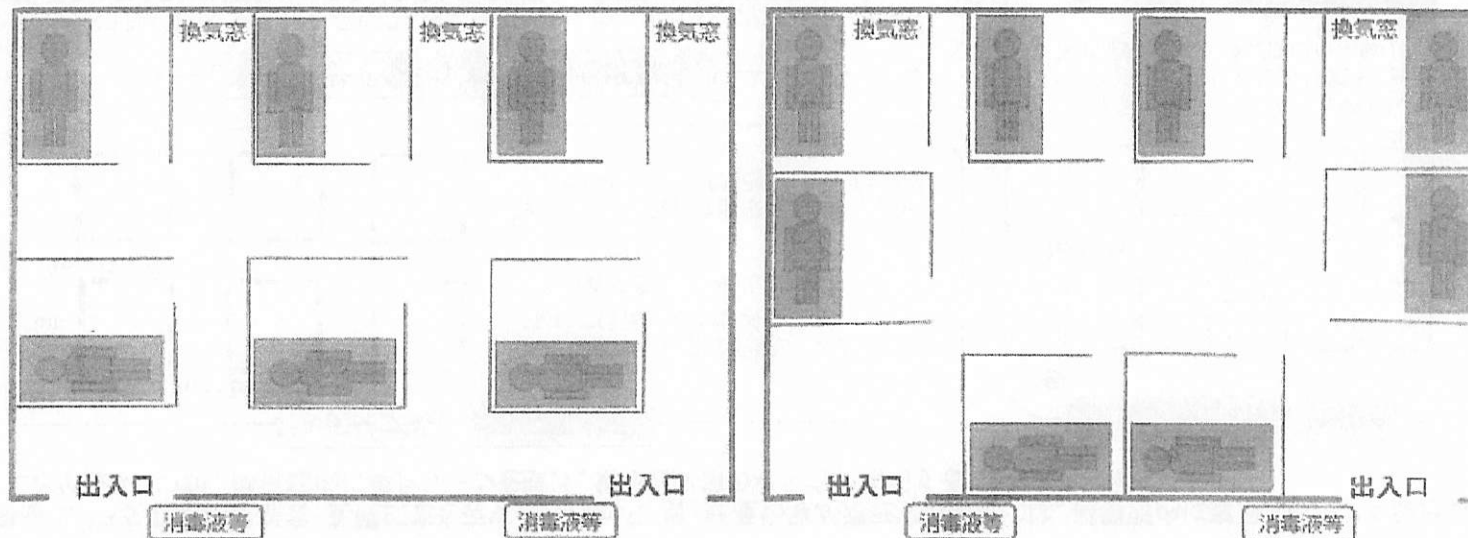
発熱・咳等のある人や濃厚接触者専用室のレイアウト（例）

R2. 6. 10
第2版

【発熱・咳等のある人や濃厚接触者専用室のレイアウト（例）】

- 発熱・咳等のある人や濃厚接触者は、それぞれ一般の避難者とはゾーン、動線を分けること。
- 発熱・咳等のある人は、可能な限り個室にすることが望ましいが、難しい場合は専用のスペースを確保する。やむを得ず同室にする場合は、パーティションで区切るなどの工夫をする。
- 濃厚接触者は、可能な限り個室管理とする。難しい場合は専用のスペースを確保する。やむを得ず同室にする場合は、パーティションで区切るなどの工夫をする。
※濃厚接触者は、発熱・咳等のある人より優先して個室管理とする。
- 人権に配慮して「感染者を排除するのではなく、感染対策上の対応であること」を十分に周知する。

(例)



※飛沫感染を防ぐため、少なくとも座位で口元より高いパーティションとし、プライバシーを確保する高さにすることが望ましい。また、換気を考慮しつつ、より高いものが望ましい。

- ・軽症者等は、予め災害時の対応・避難方法等を決めておくことが望ましいが、避難所に一時的に滞在する場合がある。
- ・感染予防および医療・保健活動のしやすさの観点から、地域における感染拡大状況や、各避難所、活用するホテル・旅館等の状況を踏まえ、防災担当部局や保健福祉部局等の連携のもと、必要に応じて特定の避難者の専用の避難所を設定することも考えられる。
(例:高齢者・基礎疾患を有する者・障がい者・妊産婦用、発熱・咳等の症状のある者用、濃厚接触者用)

※発熱・咳等のある人や濃厚接触者は、マスクを着用する。

※上記は全て実施することが望ましいが、災害時において種々の制約が想定され、出来る範囲で最大限実施することが望まれる。

「自分の命は自ら守る」意識を持ち、適切な行動をとりましょう

新型コロナウイルス感染症が収束しない中でも、
災害時には、**危険な場所にいる人は
避難することが原則です。**

知っておくべき5つのポイント

- 避難とは[難]を[避]けること。
安全な場所にいる人まで避難場所に行く必要はありません。
- 避難先は、小中学校・公民館だけではありません。安全な親戚・知人宅に避難することも考えてみましょう。
- マスク・消毒液・体温計が不足しています。
できるだけ自ら携行して下さい。
- 市町村が指定する避難場所、避難所が
変更・増設されている可能性があります。
災害時には市町村ホームページ等で確認して下さい。
- 豪雨時の屋外の移動は車も含め危険です。
やむをえず車中泊をする場合は、浸水しないよう周囲の状況等を十分確認して下さい。

5 備蓄状況

備蓄場所	①公園管理事務所	②第一中学校	③第二中学校
	④第三中学校	⑤第四中学校	⑥塩尻小学校
	⑦豊殿地域自治センター	⑧上田創造館	⑨塩田中学校
	⑩東塩田小学校	⑪あいそめの湯	⑫川西小学校
	⑬丸子北部体育館	⑭丸子地域自治センター	⑮東内保育園
	⑯西内小学校	⑰真田地域自治センター	⑱菅平小中学校
	⑲武石小学校		

(単位：食、個) H31.3月現在

品名	備蓄場所						
	①公園事務所	②第一中	③第二中	④第三中	⑤第四中	⑥塩尻小	⑦豊殿C
ごはん	4,350	1,250	1,900	1,500	1,400	1,450	1,550
おかゆ	2,250	500	400	500	500	650	350
パン	840	96	96	120	120	96	48
クラッカー、ビスケット	960	140	280	210	280	180	210
飲料水(500mm)	2,760	408	480	480	720	528	360
粉ミルク(アレルギー対応)	20	0	0	0	0	0	0
哺乳ビン	50	0	0	0	0	0	0
給水袋	1,900	100	300	300	200	1,000	100
浄水器	7	0	1	0	0	1	1
浄水器用フィルター	76	0	4	0	0	4	4
浄水器用滅菌剤	40	0	0	0	0	0	0
携帯用浄水器	60	0	0	0	0	0	0
発電機(1500W)	16	1	0	0	0	2	1
発電機(900W)	2	1	0	1	2	3	4
発電機(ガス)	6	1	1	1	1	0	0
投光機(ハロゲン)	18	1	4	2	4	4	3
投光機(省電力・省電力)	3	1	1	1	1	1	1
ヘッドライト	19	5	10	0	5	5	5
強力ライト(懐中電灯)	39	2	10	0	0	5	3
LEDランタン	31	3	4	5	5	3	7
トイレセット (ハウス・便器・凝固剤50個)	0	0	0	0	0	0	0
トイレ用テント(ポータブル・ワンタッチ)	25	10	14	12	10	11	9
トイレ用便座 (ワンタッチ・ポータブル等)	44	8	13	15	15	20	17
ボックストイレ(ダンボール)	25	10	10	10	0	10	10
マンホールトイレ(備品)	6	0	0	0	0	0	0
車椅子対応型仮設トイレ	0	1	1	0	0	0	0
非常用排便収納袋	2,900	700	1,200	2,000	1,000	500	800
テント(2間×3間)(備品)	3	0	0	0	0	0	0
ワンタッチパーティション	55	14	14	20	20	20	10
プライベートルーム(備品)	7	1	1	2	1	1	1
トリアージテント	3	0	0	0	0	0	0
トリアージシート	3	0	0	0	0	0	0

品名	給 養 場 所						
	①公民事務所	②第一中	③第 二 中	④第三中	⑤第四中	⑥塩尻小	⑦世隆C
生理用ナプキン	2,160	720	720	0	360	720	720
子供用おむつ	2,478	102	0	0	51	350	248
大人用おむつ	616	42	0	0	13	126	84
防塵マスク	480	60	120	0	0	120	170
寝袋	34	11	12	24	30	18	12
多目的簡易ベッド	5	0	0	3	0	0	0
毛布	460	50	50	100	100	105	75
やかんセット(8L・5L)	21	1	1	0	3	1	1
炊き出し器	4	0	0	0	0	0	0
エコロジー食器セット	100	100	100	0	0	100	100
カセットコンロ	0	1	0	0	0	4	3
カセットコンロ用ボンベ	159	3	6	15	0	12	9
固形燃料	114	0	30	0	0	0	0
対流型石油ストーブ	4	1	2	0	2	1	1
カセットボンベ式ガスヒーター	20	0	0	0	0	0	0
ガソリン缶(20ℓ)	8	2	3	2	2	2	4
非常用水電池	1,500	0	0	0	0	0	0
乾電池アダプター(単一)	250	0	0	0	0	0	0
乾電池アダプター(単二)	250	0	0	0	0	0	0
事務用品セット	31	0	2	0	1	0	0
工具セット	6	1	1	0	1	3	2
脚立	2	0	0	0	0	0	0
台車	2	0	0	0	0	0	0
リアカー	2	1	0	0	0	0	0
一輪車	5	0	0	0	0	0	0
担架	2	1	1	0	0	1	1
コードリール(30m)	10	2	3	1	2	2	4
ブルーシート	49	5	50	1	60	20	11
トンバック	0	0	0	0	0	0	0
土のう袋	3,090	0	0	0	0	0	0
スコップ(剣先)	16	4	6	0	5	12	8
スコップ(角)	42	0	0	0	0	0	0
バール	11	1	2	0	0	3	1
カナテコ(大)	7	1	1	0	0	1	1
デッキブラシ	5	0	0	0	0	0	0
バケツ	20	0	0	0	0	0	0
拡声器	22	1	2	0	2	2	1
手回し充電式ラジオライト	30	2	5	0	5	5	3
非常持出袋セット	0	0	0	0	0	0	0
使い捨てカイロ	0	0	0	0	0	0	0
ゴーグル	20	4	4	0	0	8	4
レインスーツ	19	3	7	0	5	10	7

第5章 資料編

1 災害情報の収集方法

※大雨などの気象情報を入手する方法

・テレビ・ラジオの情報だけでなく、インターネットや携帯電話でも情報を入手することができます。

○上田市防災気象情報 (<http://city-ueda.jyouho.net/>)

・上田市の雨量観測情報や天気予報など

○上田市メール配信

・緊急速報（避難情報等）、防災情報、火災情報など



登録用
二次元コード

○気象庁ホームページ (<http://www.jma.go.jp/jma/index.html>)

○NHKホームページ (<http://www.nhk.or.jp>)

・気象情報全般、災害情報など

○スマートフォン用Yahoo!天気・災害アプリ

・雨雲レーダー、気象情報全般、災害情報など

○スマートフォン用防災・避難誘導アプリ「みたちヨ」

・気象情報、避難所への誘導など

○長野地方気象台 (<http://www.jma-net.go.jp/nagano/>)

・気象情報全般。注意報、警報、台風情報、地震情報など

○長野県河川砂防情報ステーション (<http://www.sabo-nagano.jp/dps/>)

・土砂災害警戒情報、気象情報、台風情報など

・パソコンや携帯電話へのメール配信登録ができます。

(登録無料。通信費は別途かかります。)

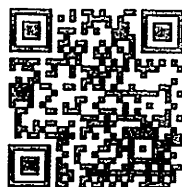
○千曲川河川事務所 (<http://www.hrr.mlit.go.jp/chikuma/index.html>)

・千曲川の水位情報、雨量観測、千曲川のライブ映像など

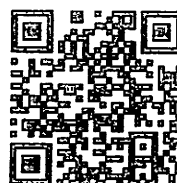
市ホームページ
「ハザードマップ」
はこちらから



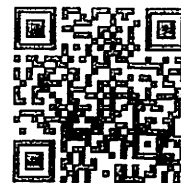
気象庁 高解像度
降水ナウキャスト



長野県河川砂防
情報ステーション



スマートフォンサイト



携帯電話サイト

2 災害の基本的な知識

(1) 避難情報の種類

種 類	住民に求める行動
避難準備・高齢者等 避難開始	要配慮者等、特に避難行動に時間を要する者は、計画された避難場所への避難行動を開始（避難支援者は支援行動を開始）。 これ以外の者は、家族等との連絡、非常用持出品の用意等、避難準備を開始。
避難勧告	通常の避難行動ができる者は、計画された避難場所等への避難を開始。 ただし、避難場所等への避難がかえって危険であると判断できる場合は、待避・垂直移動を行う。
避難指示（緊急）	避難勧告等の発令後で避難中の住民は、確実な避難行動を直ちに完了。未だ避難していない対象住民は、直ちに避難開始。 ただし、避難場所等への避難がかえって危険であると判断できる場合は、待避・垂直移動を行う。

(2) 第一次避難場所等

ア 地震等の場合

自治会名	名 称
上長瀬	上長瀬公会堂、練合公民館、平戸工業団地のみ⇒自宅に帰宅
長瀬中央	上平南公民館、上平県住集会所、町組公民館、小路下公民館、金井公民館
下長瀬	コミュニティセンター下長瀬（西組公民館）、東組公民館、権現公民館、宮原公民館、東街道公民館、北街道公民館

イ 台風など大雨の場合

地区名	名 称
上長瀬	上長瀬公会堂、練合公民館、平戸工業団地のみ⇒自宅に帰宅
長瀬中央	上平南公民館、上平県住集会所、町組公民館、小路下公民館、金井公民館
下長瀬	コミュニティセンター下長瀬（西組公民館）、東組公民館、権現公民館、宮原地区のみ⇒自宅待機
東街道	向陽院、塩川小学校、狐塚公民館
北街道	塩川小学校、コミュニティセンター下長瀬（西組公民館）、

(3) 指定緊急避難場所一覧

避難場所	土砂災害	洪水	地震	指定避難所 も兼ねる
長瀬市民センター	○	○	○	○
丸子北中学校	○	○	○	○
丸子北小学校 （丸子北部グラウンド含む）	○	丸子北小学校○ 北部グラウンド×	○	○
塩川小学校	○	○	○	○

(4) 指定避難所の開設方法のフロー図

風水害の場合	地震の場合
<p>河川の氾濫、土砂災害の恐れ</p> <p>↓</p> <p>★市が避難勧告を発令するときは、指定緊急避難場所一覧のとおり、速やかに避難施設の開設を決定するとともに、その内容を住民に周知します。</p> <p>↓</p> <p>★市災害対策本部による避難勧告等の発令、避難対象区域の住民への避難の呼びかけ</p> <p>↓</p> <p>★避難者を指定避難所へ収容</p>	<p>震度5弱以上の地震が発生</p> <p>↓</p> <p>★指定緊急避難場所を開設（市）</p> <p>↓</p> <p>★建築士による指定避難所の応急危険度判定</p> <p>↓</p> <p>★安全性が確認された後、災害対策本部の指示で指定避難所へ収容</p>

(5) 指定緊急避難場所及び指定避難所等への避難方法について

※原則として、災害時は「2段階」避難とします。

第1段階	自治会が指定する公民館などの「第一次避難場所」に避難します。
第2段階	災害の規模の拡大や、「第一次避難場所」に危険が及ぶ場合は、市が指定する「指定緊急避難場所及び指定避難所」に避難します。第一次避難場所に危険が及ぶ恐れがあるときは、市に連絡し指定緊急避難場所及び指定避難所の開設を要請します。

ア 第一次避難場所

各自治会が定めたもので、災害時に地域の自主的な判断によって開設・管理し、一時的に集合・避難する場所です。また、自治会内の安否確認をする場所にもなります。建物である避難（所）施設と駐車場などの避難地との役割を分け、地震時は避難地で一時避難し、避難（所）施設の安全が確保されるまで原則避難収容を行いません。

イ 指定緊急避難場所及び指定避難所（第二次避難場所）

市が指定する避難場所で、市が開設・管理を行います。

ウ 自動車での避難

避難には、自動車を使用せず、徒歩により集団で避難を行います。

自動車での避難は、身体的に移動が困難な高齢者や妊産婦、身体障がい者などやむを得ない場合に限定するものとする。

エ 自治会の区域外で被災した場合の避難

自治会の区域外で被災した場合は、区域にとらわれず最寄りの避難所に避難します。余震等が収まったら、慌てずに自治会内の避難所に移動します。

3 防災用資器材備蓄一覧

保管場所：上長瀬自治会

品名	数量	備考
発電機	1	26 形
チェンソー	1	
ブルーシート	10	3.6 形×5.4 形
リヤカー	1	

保管場所：長瀬中央自治会（予定）

品名	数量	備考
ヘルメット	60	EH-P 型
LED ヘッドライト	60	HW-000X
防災用安全靴	10	
耐熱・防刃作業用手袋	100	ケブラー製
ブルーシート	20	#1300 10 形×10 形
パック毛布	10	
スーパーLED ランタン	10	マルチステーション 2
反射式カラーコーン	30	
カラーコーンウエイト	30	
コーンバー	10	
A 型バリケード	10	
レスキュー12（25 点セット）	2	
防災倉庫	1	KMR-3727

保管場所：下長瀬自治会

品名	数量	備考
折りたたみ式担架	2	
災害避難用大型テント	1	6 形×3 形
簡易仮設トイレ	2	FOT-003-BS
折りたたみ式アルミアカー	1	
発電機	1	EU24i
投光器	1	EM4002W
防災用ハロゲン投光器セット	3	300 形×2
コードリール 防雨型	2	
物置型倉庫	1	

保管場所：消防団詰所

品名	数量	備考
名入り災害避難用大型テント	1	
名入りパトロール用ベスト	20	
チェンソー	2	
非常用食料品		平成 28 年度購入分
非常用食料品		平成 29 年度購入分

回覧

コスモスを見ながら散歩しよう



皆さん、コロナ禍で運動不足ではありませんか。

国道18号上田バイパス常磐城付近の側道に、今年もコスモスが咲きはじめました。

ここは今年の春に、ハナモモの木を植樹した場所です。半年でハナモモも少し大きくなりました。

ハナモモの成長と、コスモスを楽しんで散歩しませんか。



コスモス
見ごろ期間

9月下旬～10月中旬

場所

国道18号線上田バイパス
常磐城(生塚神社)付近

側道は車が通行しますので、ご注意ください。

<コロナ対策はめかりなく>

マスクの着用をお願いします。
また、散歩の間隔は2m以上確保しましょう。お互いの健康と安全、安心のため、ご協力をお願いします。

コスモスの写真を撮ってみよう!!

コスモスを見ながら写真をとって見ませんか

皆さんの写真を飾って、多くの方に見ていただけるコーナーを設置しました。
あなたの写真をプリントして持ってきてください。

【コスモス写真コーナー】

- 設置場所：西部公民館 展示スペース
- 展示期間：11月2日(月)～14日(土) 8:30～17:00
(但し公民館開館時のみ)
- 写真サイズ：2L判(裏面に氏名、自治会名を記載のこと)
- 写真受付日時：西部公民館 事務所 10月30日(金) 17:00まで
※写真は返却いたしませんのでご了承ください。